

人の価値は生まれた 場所で決まるのではない

渡辺仁史



think the future from

hitoshi watanabe lab.

●大濱信泉先生との出会いとその影響

●総長就任70周年記念講演会

先日、石垣市出身で早稲田大学第7代総長を務めた大濱信泉先生が総長就任から70周年を迎える記念式典に登壇する機会を得ました。私は石垣島と東京都の2拠点で生活をしている早稲田大学の名誉教授という立場で、直接お会いすることはありませんでしたが、大濱先生とはとても強い関わりがあった3つのことについてお話しさせていただきました。

●大濱信泉（のぶもと）記念館

最初の出会いは、2000年、家内の療養のため石垣島に家を建て、年に数回訪れるようになった頃でした。石垣市内で、早稲田大学の大隈講堂に似た建物を見かけ、なぜこんなところに似た建物があるのか不思議に思ったのが、大濱先生の存在を知るきっかけでした。後にそれが、石垣市が生んだ人物として、早稲田大学に尽力された大濱先生を顕彰するためのものであると知り、島への思いを感じました。

●1966年早稲田大学入学式

2つ目は、1966年、私の早稲田大学への入学式の際にありました。その年、学園紛争の影響で大学はストライキが起り、

入学式は1か月延期されての5月開催となりました。その時、総長であった大濱先生は紛争の責任を取られ、総長を辞職されました。そのおかげで私は入学式を迎え、無事に学園生活を送ることができたのです。

●1975年沖縄国際海洋博覧会

3つ目は、1975年の沖縄国際海洋博覧会での関わりでした。退職後、大濱先生は沖縄の発展に貢献し、本土復帰の立役者として知られますが、その後も沖縄のため尽力され、博覧会の実現に奔走されました。博士課程在学中だった私も、博覧会の会場動線シミュレーションを担当し、わずかながら貢献できたことを嬉しく思っています。

●石垣島での私の活動

大濱先生の故郷や教育への思いを受けて、私も石垣島の子供たちの未来のために何かできることはないかと考え、NPO「うみもりそら」を立ち上げ、ワークショップなどを通して教育支援活動を続けています。大濱先生の志を引き継ぎ、地域の未来のために役立つ存在でありたいと改めて感じています。



大濱信泉記念館（現在時計は取り外されています）